



冬が楽しみ「チャコの家」



今冬は昨年の12月初めから雪が降り、例年より寒い冬が早くから到来しましたね。特に今回は寒さが厳しいように思います、みなさん、いかがお過ごしですか？

しかし、こんなに寒いのにお家の中で寒さを感じず家族みんなが笑顔で過ごされている新『チャコの家』ファミリーがいらっしゃいます。昨年の5月以降に住宅が完成され、初めての冬を体感されている三家族の方々をご紹介します。驚くことに皆さん三世代同居の大家族なんですよ！



モノトーンのタイルで統一された豪華な玄関

辻川様では一昨年の暮頃から家づくりを中心とした大きなプロジェクトが動き始めました。それは、まず旧家を取り壊して新居を建てる事、春には息子さんの結婚式を執り行う事、そのために退職してその計画に専念するというものでした。ただでさえ、昨年は地区の区長も引き受けており、従来の農業も抱えながらご高齢のご両親のお世話もこなす大変な状況でしたが、旦那様の思い切りの良さと情熱がひしひしと感じられ、こちらも気を引き締めて取り組まなくてはいけないなと思いました。

まずはプランニング。旦那様が打ち合わせ毎に大きな紙にラフスケッチを書いて下さったお蔭で、こちらもそれに合わせて図面を仕上げていく事が出来ました。出来上がったのは、2軒の家がドッキングしたような完全二世帯の大きな建物で、親世帯と子世帯の家族みんなのプライバシーは大事にしつつ、中庭や収納など共有スペー

スを上手に設ける事で一体感を出す事が出来ました。次は細部の打ち合わせと御見積り。辻川家では農繁期と息子さんの結婚式を乗り越えながら、旧家の解体のための引っ越し作業。その忙しい最中に大工がするはずだった自分達の仮住まいまでご自分で仕上げてしまいました。そしていよいよ解体、地鎮祭、本工事へと進んでいきました。工事中の打ち合わせでも、辻川様のテキパキとした決断力の速さで、スムーズに工事が進んでいき、昨年の暮れまでに完成、入居の運びとなりました。これも、今思えば、退職されてから家づくりに専念して下さったお蔭と感謝しています。

立派に仕上がった新居は、親世帯は家族、親戚が集える広々としたLDK。それに隣接する畳コーナーには先日も外孫ちゃんがぐっすり眠ってました。四方から作業ができるアイランド型のキッチンのすぐ隣には、ゆったりとしたドレッサー、洗濯スペース、物干しユニットを配置したユーティリティがあります。また独立したモダンな和室、ウォークインクローゼットなど収納を重視したプライベートルームが配置されています。子世帯のLDKはテラス戸から中庭が望め、四季の変化を楽しめるゆとりの空間になっています。また洗面、浴室、トイレ等の水回りも家の動線を考慮した配置になっていたり、安全性を優先した余裕の階段など、今から子育てが始まる息子さんご夫婦にはとっても楽しみな仕上がりではないでしょうか？

息子さんご夫婦のご都合でご入居は2月以降との事ですが、暖かい『チャコの家』の生活を楽しみにお待ちの事と思います。

坂井市丸岡町
辻川様



ダウンライトで出来る影が落ちていた雰囲気を作る玄関ホール



LDK、畳コーナーで28畳の大空間も『チャコの家』が暖かく包みます。



2階のすべての部屋にベランダがあり、洗濯物もお布団も各自干せます。

